

① 人間生活学研究科（児童）2025年度

② 入試区分

人間生活学研究科博士前期課程（Ⅱ期）

③ 出題科目

英語

④ 出題の意図

問題1.英文を読んで概要を把握し、主旨を理解して、主要事項に関する質問に適切に回答できるかを問うた。

問題2.長文読解問題で、UNICEF—ReportCard18に挙げられたグラフの一部を参照に、子どもの貧困についての文章を問題文として、問題文の概要を把握し日本語訳で回答する能力を問うた。

2025 年度Ⅱ期 人間生活学研究科児童学専攻 博士前期課程 入学試験問題

受験番号	氏名

1 次の英文を読んで、(1)～(5)の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

Keywords: Stirling Children's Well-being Scale スターリング子どものウェルビーイング尺度, Mental health promotion メンタルヘルスの向上, Japanese school context 日本の学校の状況,

出典: Nishida et al. (2021). Preliminary Evidence for the Reliability and Validity of the Stirling Children's Well-being Scale (SCWBS) with Japanese Children International Journal of Educational Research Open. <https://doi.org/10.1016/j.ijedro.2021.100034>

- (1) 下線部を日本語に訳しなさい。
- (2) ①に関する要因として挙げられている2つの要因を日本語で答えなさい。
- (3) この研究の目的を日本語で説明しなさい。
- (4) この研究に参加したのは誰か、日本語で答えなさい。
- (5) この研究の結果確かめられたのは尺度の何か、英語で3つ答えなさい。

2 次の英文を読んで、(1)～(5)の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(後略)

Keywords: among different household types 世帯種別でも

(the most recent year for which data are available) (データ利用が可能な最新年)

more than five times as 5倍以上

may hide stark differences 明らかな違いを隠している可能性がある

出展：UNICEF-Innocenti-Report-Card-18-Child-Poverty-Amidst-Wealth-2023.

(1) 下線部を日本語に訳しなさい。

(2) の文章では、これら6か国がこのグラフのどれくらいの割合を占めていると述べているか日本語で答えなさい。

(3) Figure 10(グラフ) から日本の特徴を日本語30文字以内で答えなさい。

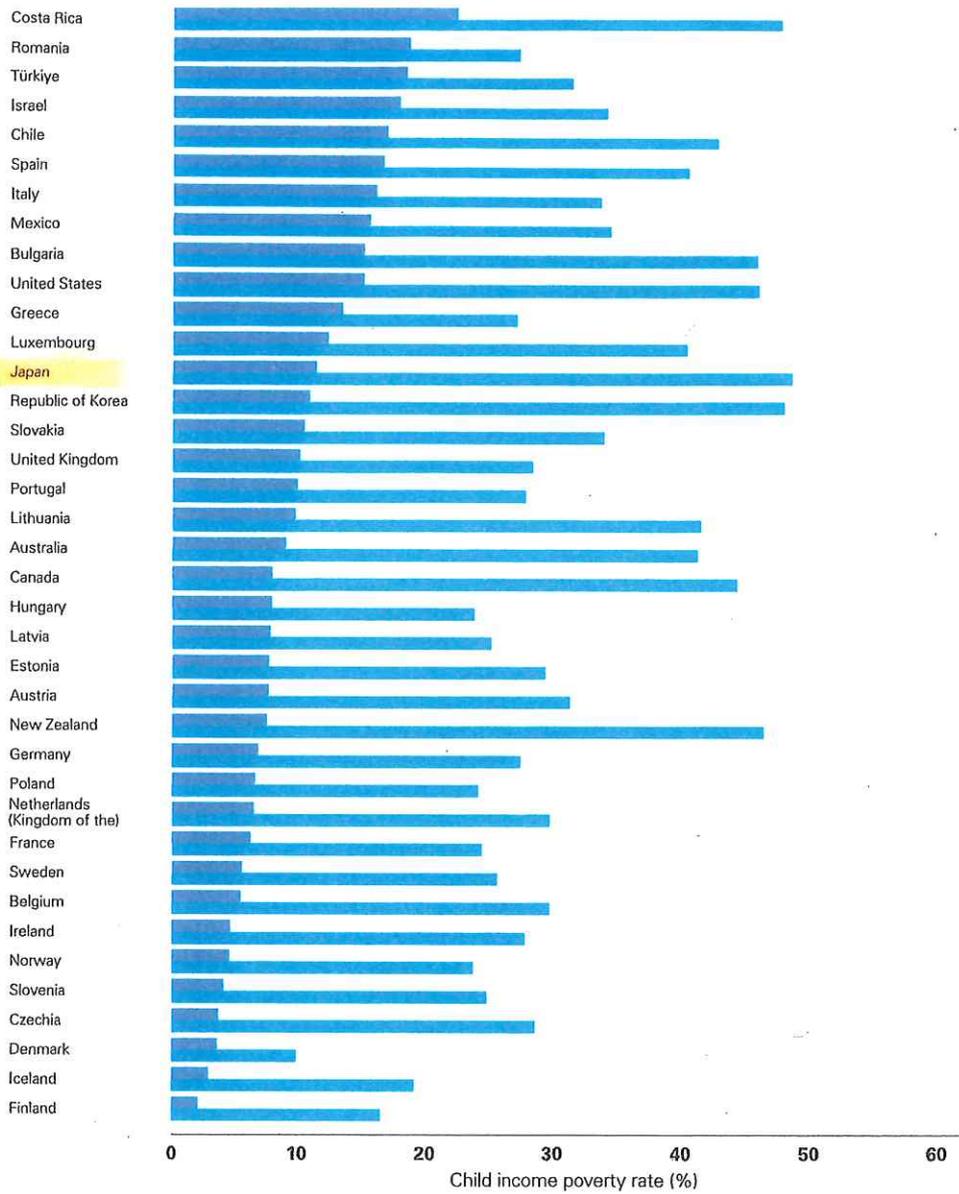
(4) このレポートで、各国の明らかな違いを隠している可能性があるのは何が要因と述べているか答えなさい。漢字を含めて15字以内

(5) このレポートの題を日本語で示した時、() 内に入る適切な言葉を下記から1つ選びなさい。

「() 中の子どもの貧困」 語群： 就労 障がい 豊かさ 技術革新 社会保障

Figure 10.

Relative income poverty for children living in households with one or two parents, OECD countries, 2018 or most recent data



Sources:

See Technical Appendix

Note:

The relative income poverty rate in this chart is based on a threshold of 50 per cent of median income

● Single adult
● Two or more adults